

# 労災ケア通信

第87号  
2024年5月27日  
発行：一般財団法人  
労災サポートセンター  
〒102-0073  
東京都千代田区九段北4-1-3  
飛栄九段北ビル10F  
TEL 03-6834-2510(代表)  
FAX 03-6834-2530  
ホームページアドレス  
<https://www.rousaiss.or.jp>

## ケアプラザだより

### ケアプラザ岩見沢

#### 「ゲームに参加して」

入居者 井川信子

施設行事のゲーム大会で「人生ゲーム」に参加させて頂きました。私は日常、部屋から出ることが無く、編み物をして過ごしていますが、施設に入る前に孫達とルールも解らず、孫任せで遊んだ事を思い出して、懐かしく思い参加を希望しました。



一緒に参加したメンバーさん達も

フレンドリーで各目の場面では会話がはずみ、スタッフさん達のサポートの他、事務員さん、栄養士さんの助けもあって盛り上がり、最後までプラス、マイナスはあっても楽しいやりとりがあり、とても良い時間を頂きました。

#### 「ケアプラザの動画作成について」

施設長 菅野理樹

12月初旬、本部より「ケアプラザの紹介動画を作成したいので、協力して欲しい」との依頼がありました。動画作成は実際に動いてみるとなかなか大変なものでした。

まずは、撮影を依頼する業者探しですが、医療機関での紹介動画を作成したことがある、実績のある業者に決めることが出来ました。

次に入居者の皆様や職員、委託業者の皆様への出演依頼要請です。現在は個人情報保護の観点から映像に映る人全員に、撮影の了承を頂かなければなりません。撮影スタッフとの打ち合わせや出演依頼などなかなか前に進みま

せんでしたが、幸いなことに職員や多くの入居者の皆様のご協力により、何とか撮影終了までこぎつけることが出来ました。感謝、感謝です。



「家族にも自分が出演した映像を見せたいのでDVDが欲しい」と、出演した入居者の皆様からの要望が多く寄せられ、何とも嬉しい限りです。皆様、ご協力本当に有難うございました。

#### 「白ウサギ」

総務課

まだ雪深い2月下旬、ある日突然施設敷地内に可愛い白ウサギが訪れ、少しの間人気者になっていました。

施設に現れる時は、決まって居住棟ベランダ近くの木の下のあたりに鎮座しており、入居者の方から「今日はいるよ」と、声をかけていただき、見に行くとやはりそこに可愛い姿があります。近づいても逃げないため、普段はな

かなか見ることのない小動物に癒され、入居者の方々も職員もスマホ片手に写真をたくさん撮ることができました。毎日顔をだすわけではなかった白ウサギさん、雪が解け始めた3月下旬にもなると、その姿を見せることはなくなりませんでした。

雪解けが進みどこかへ行ってしまった白ウサギさん。また来年の冬も戻って来てくれること、みんな首を長くして待っています。



### ケアプラザ富谷

#### 「行事委員、お疲れさまでした」

行事委員会

宮城施設行事委員会では、入居者さんから代表を1名選出させて頂いた。行事委員の一員として毎月の委員会に参加してご意見をいただくと、各種行事で様々な役割を担当していただい



カラオケ大会で審査員の高野さん  
(左側1人目)



右端が高野さん

員会で、高野さんから「右見沢から施設間移動し、すぐ行事委員に抜擢され3年間大変お世話になりました。何もできなくて迷惑かけました。」とご挨拶をいただきました。  
いえいえ、高野さん、迷惑かけたなんて全く違います。私たち行事委員は、高野さんが委員会の時に入居者目線の

ており  
ます。  
この  
行事委  
員は通  
常1年  
で交代  
となり  
ますが  
入居者  
の高野  
和夫さ  
んは3  
年間続  
けて引  
き受け  
て下さ  
ってい  
ました。  
令和5  
年度の  
最後の  
行事委

意見や周囲の入居者さんからの意見・要望を述べて下さり、大変助かり心強かったです。令和6年3月で行事委員は卒業となりましたが、これからも行事に参加していただけたら嬉しく思います。  
行事委員の大役をお引き受けいただき、本当にありがとうございます。長い間お疲れさまでした。この場を借りてお礼を述べさせていただきます。

### 「お茶会で生け花」

行事委員会

4月10日(水)、宮城施設で春のお茶会を実施しましたが、その会場で入居者の小川美也子さんにお花を活けていただきました。

小川さんは、数年前から趣味としてお花を勉強し、密かに居住棟のラウンジにお花を飾るなど、皆さんの目を楽しませてくれています。そんな小川さんに、当日急遽依頼して、茶話会の会場で職員と一緒に、生花の作



テーマ「洋」を担当した小川さん(手前)

品を造り上げていただきました。

作品のテーマは「和」と「洋」で、小川さんには「洋」を担当していただきました。作品完成後は、会場がより一層華やかになり、入居者さんたちは素敵な茶室で抹茶と和菓子を味わうことができました。

小川さんは、「まさかお茶会の行事で生花をするなんて思いもよらなかった。でも、職員さんと一緒に心強かった。貴重な体験ありがとうございましたよ。」と感想を述べていただきました。

### ケアプラザ四街道

#### 「ケアプラザ四街道に入社して」

介護課 池嶋芽唯

令和6年4月1日から、ケアプラザ四街道で採用となりました「池嶋芽唯」です。3月まで学生でしたが、今は、社会人一年生として頑張りたいと思います。

私の目標は、頸髄損傷・脊髄損傷・頭部外傷、それぞれの傷病に合わせた介護技術を早く身につけ、安全に介助を行うことが出来るようになることです。そして、入居者の皆様の日々の身体状況や精神状況など、細かい変化に気づくことができるようになりたいと思います。



同じ傷病でも障害の出方や機能がそれぞれ異なりますので、個々の残存機能を把握し、最大限に維持・向上ができるように入居者の皆様のお役に立てればと思います。

入居者様の様子がいつもと違うと感じたら、すぐに先輩職員の方に報告をして連携を図りながら、介護に取り組みたいと思います。

入居者の方々と職員同士のコミュニケーションを欠かさずに業務の円滑化に繋げ、入居者の皆様にとって安心安全な生活の場を提供することができるよう頑張りたいと思います。皆様どうぞよろしくお願いいたします。

### 「春を見つけよう」

#### お散歩&カフェ

介護課 山口和代

3月27日(水)、施設の行事「春を見つけよう!お散歩&カフェ」を開催しました。

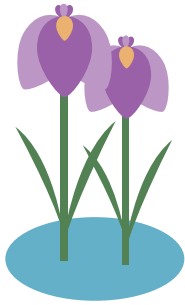


ここにも、あそこにも“春”

この日は天気も良くとても暖かい日で、参加された入居者の方々と施設の敷地内を散策しました。

今年はまだ桜が咲いていませんでしたが、入居者の方が花壇に植えたアナモネが見頃を迎えています。また、椿やボケの花、実りをつけた金柑などにも春の訪れを感じることが出来ました。

お散歩の後は、ケアルーム前でコーヒーや紅茶などを飲みながら、楽しいひと時を過ごしました。感染防止対策として、これまでなかなか入居者様同士が集まる機会が無かったため、久しぶりの会話を楽しまれていました。カフェのみに参加された方も居らっ



しゃいましたので、今後は施設の庭でカフェを開催し、皆様に季節を肌で感じていただけるような企画をしたいと思えます。

### ケアプラザ瀬戸

#### 「新任のごあいさつ」

志水久乃



今年度4月1日より愛知施設の総務課長となりました志水久乃と申します。

労災・介護に関する知識も経験も乏しい状態ですが、入居者の方々と職員の方々の声に耳を傾け、少しでもお役に立ちたいと考えています。

私自身の良いところは明るさと健康なところ。ある日突然職務中の事故で重度の障害を負われた方々の状況を理解し、気持ちに共感するよう心掛け、入居者の方々に笑顔で施設での生活を送っていただくことを目標に、そして、職員の皆さんが笑顔で働けるよう、また、自分自身も健康で、笑顔で皆さんのお手伝いができるよう努めていきたいと思えます。

お世話をおかけしますが、どうぞよろしくお願い致します。

### 「令和6年の桜」

総務課

今春は、気温が安定せずニュースでも連日報道されていましたが、全国的に桜の開花が当初の予想よりも遅れてしまったようです。

ケアプラザ瀬戸では、入居者の皆さんとお花見を開催していますが、夜桜も楽しめるよう、設備の方の協力を得て、ライトアップを行っています。

また、桜の開花が遅れたことから、このぼりを飾る時期と重なり、このぼりがたなびく中、満開の桜を同時に楽しめる写真が撮れました。東海地方では珍しい光景であったことから投稿させて頂きます。



### ケアプラザ堺

#### 「令和6年「お花見会」によせて」

介護課

春の恒例行事であるお花見会は大阪

の桜開花予想が3月25日との報道を受け、3月27日に計画を立てました。開催前日までは、自然のいたずらか予想以上に気温があがらず、施設内の桜の大半はこれからつぼみを開こうと準備している状況でした。

しかし、施設のエントランス前にある桜の木だけは、施設での一番桜と呼ばれているように、かわいい桜色の淡い花びらを開いてくれ、春の訪れを待ちわびている入居者の皆さんの心を



一時癒されるようにしてください。

昼食のひと時には、これから花を開かせる時期



を迎える櫻木たちのつぼみを眺めながら「4月は満開になるね」と振る舞われた甘酒を堪能したのち、入居者のみなさんとともに桜談義に花を咲かせました。

### 「春の到来 旬の食材をつかって」

介護課

春の季節がやって来ました。3月末、旬の食材を使って、桜鯛のお刺身、ふきとがんもの炊き合わせ、梅ソーメン、湯葉のおすまし等、桜色をモチーフとした松花堂弁当が振る舞われました。別の日には、給食業者からの提案により、能登半島地震復興応援の一環として「氷見のブリ」を急遽提供いただけることになりました。



お刺身はぷりぷりで、春を感じることができ、これも桜色。花より団子と言いますが、入居者さんもお大変喜んでおられました。ケアプラザ堺では、桜が沢

山咲いています。桜の花の「さくら」も勿論ですが、「さくら」のような人の目を引く料理と思いやりのあるメニューに、給食業者さんの温かい心配りを感じました。これも、からも、季節ごとの料理の提供を入居者さんと心待ちにしています。



### ケアプラザ呉

#### 「カラオケ発表会」

介護課

2月7日(水)に、ケアプラザ呉では4年ぶりにカラオケ発表会を開催しました。

コロナ禍になってからは、行事としてのカラオケは中止せざるを得なく、カラオケルームの利用についても制限があり、入居者の皆さんにはご不便をおかけしていましたが、コロナがら類と



熱唱する入居者様



パッと「狙い撃ち」

なり、ひとまずは大会ではなく、発表会という形で復活することしました。感染対策として、歌唱される方の中には、ビニールカーテンを設置し、マイクは1回ごとに消毒し、さらに歌唱される方と観覧者の距離は十分とりました。7名の入居者がエントリーされ、皆さん気持ちを込めて熱唱されました。また、職員も参加し、「狙い撃ち」で会場を盛り上げました。観覧されていた入居者も熱心に耳を傾け、会場全体が一つとなり、笑顔いっぱい楽しい時間を過ごせました。

「来年もあるなら参加してみたい。」との声もいただき、準備にあたった職員も報われた思いです。令和6年度も入居者の皆さんに楽しんでいただける行事を企画してまいります。

### 「お花見会」

介護課

ケアプラザ呉には、玄関前と裏庭に25年前の開設当時に植えられた桜があり、桜の時期には毎日お花見が楽しめます。

桜が満開になった4月10日(水)、恒例のお花見会を開催しました。

当初の開花予想は3月20日過ぎだったので、3月中のお花見になるかと思いましたが、寒の戻りもあり、4月に入ってやっと咲き始め、一気にも開けました。当日、朝の気温は低かったものの、



マスクを外して「はいチーズ」

日中は快晴となり、皆さんが集まる頃には温かい陽ざしが降り注いでいました。

めったに行事に参加されない入居者の方の姿も見られ、27名の方が、温かいコーヒーを飲みながら、咲き誇る桜や花びらが舞い散る様子を楽しまれました。

また、今年は久しぶりにマスクを外して集合写真を撮ることができました。

### ケアプラザ新居浜

#### 「就任のご挨拶」

このたび、4月1日をもちましてケアプラザ新居浜の施設長に就任いたしました河野(かわの)でございます。

平成9

年に当財団に入職してからこれまで約27年間、ケアプラザや財団本部で事務職として勤めて参りました



プチ散歩で「パシャリ」



新任の河野施設長(左)、大山介護課長

た。

施設長としては未熟ではありますが、入居者の皆様が健康で安心した生活を送ることができるよう精一杯務めて参りますので、どうぞよろしくお願いたします。

ケアプラザ新居浜では、今年度も入居者の皆様が施設生活を楽しんでいただけるように様々な季節行事やレクリエーションが企画されています。4月10日には、赴任してからはじめてのレクリエーションに参加しました。

近くの公園に出かけ、暖かい日差しの下で満開の桜を眺めながら入居者の皆様と一緒に新居浜の春を満喫させていただきました。

大山介護課長

4月からケアプラザ新居浜の介護課長として着任いたしました大山でございます。

今まで労災病院で30年以上、看護の仕事をして参りました。

介護の世界は初めてであり、不安なことも多くありますが、精一杯頑張ります。また皮膚・排泄ケア認定看護師のスキルを活かし、施設内で褥瘡予防・ストーマケア等の質向上を目指して、職員と一緒に取り組んでいきたいと思えます。

#### 栄養士の方から一言

越智栄養士

私たち日清医療食品は、現在6名で入居者の皆様の食事を毎日作らせていただいています。

入居者様からの「いただきます」「ごちそうさま」「美味しかった」の声の日々私たちの励みになっています。

至らぬ点が多々あると思いますが、少しでも食事の時間が入居者の皆様にとって至福の時間となりますようこれからもよろしくお願いたします。

何かご意見がありましたら、厨房職員にお気軽にお声掛けいただければ嬉しいです。



気軽にお声掛けください

### ケアプラザ宇土

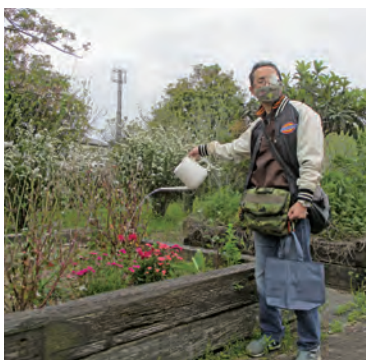
#### 「私の日常」

入居者 宮河慎也

私は、ケアプラザ宇土に入居して四年になるつとじています。それ以前は、各地の施設を転々としていましたが、ケアプラザに来てからは幾分か落ち着いた日々を送れていると感じています。

日中は、福祉作業所に通い、椅子の製作等の作業に従事しており、物を作る楽しみを感じながら毎日を過ごしています。

コロナ禍では、何かと制約事が多かったのですが、現在は外出制限も徐々に緩和され、概ね快適な生活を続けられています。施設に花壇があるのはうれしいです。



ね。種から育てるのは少し難しいですが、近くの苗店に苗を買います。

に行くのも気分転換になっています。季節ごとに花を愛でられるのはありがたいことです。

これからも、いろいろな楽しみを見つけて、充実した日々を送れたらと思っています。

### 「写真クラブ定例会」

介護課

3月13日(水)、施設内の会議室で、令和5年度最後の写真クラブの定例会を開催しました。

作品のテーマを「ケアプラザの四季：秋・冬」として、皆様から提出いただいた作品(写真)に、一人一票で投票を行っていただき、特選と入選を決定しました。

総評では、アドバイザーのボランティアの方から、「特選の『いちようの木と青い空』は、木と空の配置が良く、いちようの木が話し合っているような気がした。」との感想が述べられました。



入居者の皆様は、互いに自分の作品の撮影した時期や場所を紹介しあいながら、笑顔一杯で楽しい時間を過ごされました。

これから、年4回の定例会を開催していく予定です。

# 「本年度事業計画」の重点対策

令和6年3月21日に開催された理事会において本年度の事業計画が決定されましたので、ケアプラザに関する重点的な取組み事項についてお知らせします。

当財団では、入居者の方々の尊厳を重んじるとともに、その自立の精神を尊重し、安心していきいきとした生活が営めるよう、新型コロナウイルスを始めとする感染防止対策を徹底しながら努めてまいります。

## (1) 基本的事項への取組

### ① 適切な介護サービスの提供

入居者様等の意見や希望を踏まえた介護計画の目標の実現を目指し、入居者様の傷病・障害及び健康の状態に応じた介護計画をカンファレンスで検討策定し、適切な介護サービスの提供に努めます。

このため、各施設においては、入居者の方々の傷病・障害の特性に応じた専門的な介護サービスに関する知識・ノウハウなどを取りまとめた「労災特別介護施設介護手引」を基に本事業を

実施することとしますが、これに止まらず今後も新たな介護技術及び介護機器に関する情報を収集するなど、最新の知見を踏まえた介護サービスの提供に努めます。

また、「安全管理対策マニュアル」、「感染管理対策マニュアル」、「認知症介護マニュアル」及び「褥瘡マニュアル(褥瘡ケアの基本)」及び「入居者介護虐待防止マニュアル」に基づいて、入居者の方々にとって安全で安心な介護サービスの提供に努めます。

### ② 入居者の方々の健康管理

入居者様は、せき髄損傷・頭部外傷等による傷病・障害に加え、加齢に伴い基礎疾患を有する方が多く、また、特定疾病発症リスク等もあって医療ニーズが高いことから、労災病院及び近隣医療機関の医師等を医療コンサルタントとして委嘱して施設内で入居者様の健康管理や健康相談を行うほか、通院時には看護職員等が同行し、施設のマイクロボスで送迎するなどの確に対応します。

また、入居者様の健康状態の急変時等には、施設内で応急処置等を行い、救急搬送をするなど迅速、適切に対応します。

### ③ 苦情等への対応

入居者様から苦情等の申し出があった場合には、「苦情解決委員会」等において、迅速かつ適切に対応し、速やかな解決・改善に努めます。

## (2) その他の事項への取組み

その他、次の事項について取り組むこととしています。

- ① 研修等を通じた人材の育成
- ② 介護に関する研究の実施
- ③ 防災への取組み
- ④ 個人情報保護及び適切な取扱い

